

工具摩耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発
(事後評価)

質問・意見

回答

B委員	バイトの形状についてはどのように対応しているのですか？	平面のみ対応できているという状況です。
C委員	このテーマは難しいと思います。なぜ今回このテーマに取り組んだのですか？ また、もし自動計測できたとして、実際の製品にどうタイアップさせることができるのが非常に問題になると思います。使うことができるかどうかも疑問です。	(補足) :アジアなどの諸外国との競争に勝つためには加工コストの削減が求められているため、24時間稼働が出来る機械の実現が必要であり、おっしゃるとおり非常に難しいテーマではありますが、可能性を探るということで取り組んだものです。ご指摘のとおり、製品化と言う構想は希薄でありました。
A委員	もともとこのテーマは産総研 (産業技術総合研究所) から出たものなのですか？	全国的にこのテーマで検討しようということが始まりです。他県でも実用化や商品化などの話は聞いておりません。開発というよりは将来の可能性を踏まえた研究と言えると思います。 (所長) 部分的な技術でも次の研究に活かせるように考えなければいけないでしょう。